

Press release

iti SETOUCHI

報道関係各位

2023年10月5日

福山電業株式会社
iti SETOUCHI

1周年を迎える複合施設 iti SETOUCHI (イチ セトウチ) グッドデザイン賞2023「グッドデザイン・ベスト100」に選出 元百貨店のリノベーション再生手法とプログラムデザインに評価

iti SETOUCHI (所在地: 広島県福山市西町1-1-1 1F、支配人: 谷口博輝) は、住宅、オフィス、公共空間のリノベーション等を手掛ける設計事務所、株式会社オープン・エー (以下、OpenA) (本社: 東京都中央区日本橋馬喰町、代表取締役: 馬場正尊) と共同で、公益財団法人日本デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞2023のカテゴリー14: 建築 (産業/商業施設) 部門にエントリーし、1階に集中させたリノベーション再生手法や商業に頼らないプログラムなどを評価いただき「グッドデザイン・ベスト100」に選出されました。受賞展は、GOOD DESIGN EXHIBITION 2023として、10月25日より東京ミッドタウンにて開催されます。



< エントリー概要 一部抜粋 >

■巨大な元百貨店を「屋根のある公園」に

iti SETOUCHIが開業するまでの背景として、福山市が所有する元百貨店のリノベーション再生事業としてスタート。駅前の好立地でありながら、様々な事業者が活用しては撤退を繰り返してきた。そのため、これまでの商業的な利用とは異なり、公民連携で駅前のエリア再生までを視野に入れたく使い方の新規性が求められる再生プロジェクトとして計画を展開しました。

活用にあたっての条件は、①7年間という短期間の暫定利用をすること、②貸床面積を50%までとしパブリックスペースをふんだんに設けること。この条件を満たしながら、同時に多額の投資や巨大な空間が閉鎖し続けることによるエリアへのリスクを回避するため「部分的改修・スピード再生案」という手法を検討。5000平米以上もある広い空間を「屋根のある公園」となることを目指し、繊維業や鉄工業など福山の強みとなる地域資源を生かし、またこのエリアの文脈を引き込み福山の街が集積したような配置計画をした施設と、チャレンジする多種多様な人を応援する土壌づくりをビジョンとしたプロジェクトとしてスタートした。

■リノベーション建築特徴とデザイン

Point 1: グランドレベルに注目した部分的改修・スピード再生
街と接するグランドレベルのみを再生活用とすることで、改修投資の軽減と、時間的な再生スピードの速さを実現。閉鎖期間の短縮により、エリア価値を毀損する恐れも小さく済んだ。床と天井の仕上げはほとんど行わず、既存を生かすようなデザインを意識した。

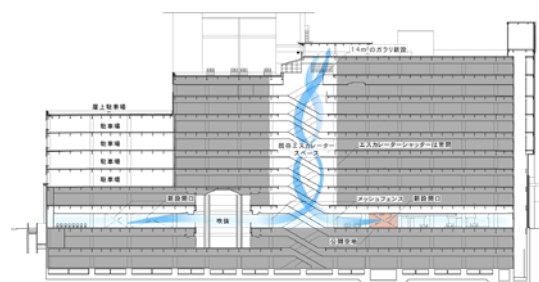


街にひろがる開口部

Press release

iti
SETOUCHI

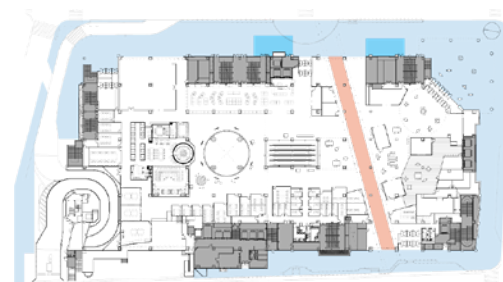
Point 2: 設備投資を圧倒的に削減する重力換気による自然の空調
外壁を4箇所ぶち抜き、館内に自然風が吹き込む入口を作った。1階開口部から吹き込む風がエスカレータースペースを通り抜ける自然通風により、一定の暑さを解消できる環境を作った。全館空調はなしにし、人の溜まるエリアにだけスポット空調を採用する、設備投資削減を実現した。



風の流れを示すダイアグラム

Point 3: 屋内の活動を外にまで展げる屋外公開空地の換地

施設の役割として、エリア全体への波及効果を期待されていたことから、活動は屋内だけで閉じず、外にまで展開していくことが重要であった。そこで外部の公開空地を占有利用するために、内部空間の一部と換地した。結果、屋外の占有利用と、屋外の要素を屋内に引き込んだ面白い風景が実現した。



屋内公開空地
換地した元公開空地
屋外公開空地

Point 4: 工作的に作り続ける余白のあるデザイン

様々な人が活動することで、常に変化し続けることをポイントとしていたことから、パブリックスペースを中心に作り込みすぎないデザインを意識した。平常時は飲食する人などの居場所となりつつも、イベント時は大胆に場をハックし、コントラストのある風景を作り出している。可変性に飛んだ空間使いをするための「余白のあるデザイン」が生きている。



平常時のパブリックスペース

Point 5: つながりを生み出すコミュニティデザインと仕掛け

施設利用者との関係性づくりは工事期間中から開始し「Under Construction」をテーマに工事中の変化が見える<のぞき窓>を設置した区画を市民に開放。中でも、施設で使用する什器を市民とつくるワークショップを複数開催し、仮設壁も同時につくりあげ、施設をつくっていく体験を市民と共有した。



イベント開催時のパブリックスペース

■審査員の評価コメント

百貨店の廃業は日本全国どの地域でも大きな課題になっている。駅前の好立地に立つ大きな建物から賑わいなくなることは地域の衰退を象徴するかのようで、良いことは一つもない。一方でどの地域でもその再活用方法にこれといった答えを見出せないでいる。そんな中、このプロジェクトがその突破口となる可能性を秘めていることを大きく評価した。ポイントは、欲張らずに1階だけ使うこと・最小限かつ効果的なスケルトンの変更・商業に頼らないプログラムの三つだ。まずは7年間という期限付きとのことだが、ここから街にどんな活動の芽が生まれるか、大きな期待を持って応援したい。

GOOD DESIGN EXHIBITION 2023 –2023 年度グッドデザイン賞受賞展–

会期：2023 年 10 月 25 日(水)～10 月 29 日(日)

会場：東京ミッドタウン各所(ベスト 100 展示は B1F ホール)

内容：2023 年度全受賞デザイン展示 *入場無料

GOOD DESIGN AWARD

グッドデザイン賞は、人が何らかの理想や目的を果たすために築いたものごとをデザインととらえ、その質を評価・顕彰している国内唯一の総合的なデザイン賞です。1957 年の創設以来、60 年以上にわたりシンボルマークの「G マーク」とともに広く親しまれながら、いまでは世界 45 の国と地域から応募が集まるデザイン推奨運動で、暮らしや社会をよりよくしていくための活動です。グッドデザイン賞は、年 1 回の公募制で実施し、企業・デザイナーなどから応募されたデザインを、国内外のデザイナーや建築家などの専門家、約 100 名の審査委員が審査します。審査の視点には、「人間的視点・産業的視点・社会的視点・時間的視点」と様々な観点による複眼的思考を基本にその是非を問いながら、総合的なバランスにおいてグッドデザインか否かを判断されます。一次審査(書類書類)、二次審査(現品審査)を経て、優れていると認められたデザインに「グッドデザイン賞」が贈られます。

株式会社オープン・エー<https://www.open-a.co.jp>

設計・デザインを軸としながら、社会課題の解決や、エリアの開発、新しいカルチャーの創出などを実現する複合的なチームを目指しています。規模や領域を横断しながら、建築や都市の可能性を追求します。

Open A**iti SETOUCHI**<https://iti-setouchi.com>

様々な価値観に目を向けること、感性を大事にすること、消費するだけでなく共に創り上げられること、チャレンジや表現が可能な場とすることができるプラットフォームとして 2022 年 9 月 30 日に開業。

[運営] 福山電業株式会社 <https://tovio.com/>iti
SETOUCHI

本件のお問い合わせ

iti SETOUCHI (福山電業株式会社 エリアマネジメント事業室) 担当：谷口

TEL 084-959-3481 Email: info@iti-setouchi.com 広島県福山市西町 1-1-1 1F